

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 大隅半島の中央に位置し、温暖な気候と豊かな自然を生かした農業・畜産業が盛ん。
- 大隅半島では、豊富な農産物はあるものの、消費地への販路の拡大と高付加価値化に取り組む必要がある地区。

【支援内容・背景】

- 企業と契約している作物(イモ類)の経営面積拡大を図るため機械化体系を確立する支援が必要。
- 助成対象者は、地区内で農業経営と農産物加工を営む者であり、契約農家以外からも青果として出荷できないものを加工乾燥野菜用として引き受けている。農産物加工はOEM製品も受託しているほか、食品安全マネジメントシステム認証を取得したことで国内外の販路の拡大に繋げている。現在の契約作物の機械化体系を確立することで、経営面積拡大を図り、地区における農業経営の経営力強化の取組モデルとして支援。



【経営の経緯】

- 平成18年 株式会社オキス設立
- 平成21年 農業生産開始
- 平成22年 農業経営改善計画の認定
- 平成24年 六次産業化総合化事業計画の認定を受け乾燥野菜を商品化
- 平成26年 OEM製品の受託開始
- 令和3年 大隅半島ノウフクコンソーシアム設立
- 令和4年 FSSC22000を取得(食品安全マネジメントシステム)

助成対象者「(株)オキス」の経営の状況と事業内容

《事業活用の背景》

- ポテトハーベスター等の導入により作業の効率化を図り経営面積の拡大につなげる。

【事業実施時の状況】  
(R2年度)

- 付加価値額 135百万円  
売上高 647百万円
- 露地野菜 10.5ha

《事業による整備内容》

- ポストハーベスター 1台  
事業費 7,810千円  
(国費 3,550千円)
- トラクター 1台  
事業費 1,836千円  
(国費 834千円)
- スーパー2畝マルチ 1台  
事業費 950千円  
(国費 432千円)



【現在の経営状況】  
(R3年度)

- 付加価値額 158百万円  
(117%)  
売上高 959百万円 (148%)
- 露地野菜 23.2ha (221%)

事業の  
効果

《対象者》 導入した機械により、植付から収穫までの機械化体系が確立されたことから経営面積の拡大が実現。  
《地区》 農地の集積・集約化が実現し、農福連携の就労の場や体験型農業の受入れの充実にも寄与。